

平成20年10月23日

各 位

上場会社名 株式会社 高岳製作所  
 代表者 取締役社長 尾崎 功  
 (コード番号 6621)  
 問合せ先責任者 取締役経理部長 松本 真一  
 (TEL 03-6371-5000)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年4月25日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,700	△740	△780	△500	△4.71
今回発表予想(B)	18,560	△157	△154	△71	△0.68
増減額(B-A)	1,860	583	626	429	——
増減率(%)	11.1	—	—	—	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	19,846	△397	△402	△679	△6.41

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	42,600	370	230	50	0.47
今回発表予想(B)	44,980	160	70	30	0.28
増減額(B-A)	2,380	△210	△160	△20	——
増減率(%)	5.6	△56.8	△69.6	△40.0	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	44,312	531	566	1,130	10.66

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,800	△760	△350	△70	△0.66
今回発表予想(B)	17,021	△32	426	484	4.57
増減額(B-A)	2,221	728	776	554	——
増減率(%)	15.0	—	—	——	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	17,831	△521	△117	△301	△2.84

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	36,200	0	340	300	2.83
今回発表予想(B)	39,170	0	390	450	4.24
増減額(B-A)	2,970	0	50	150	——
増減率(%)	8.2	——	14.7	50.0	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	39,747	203	621	1,520	14.34

## 修正の理由

(第2四半期)

連結および個別の売上高は、電力会社向け重電機器の売上高増加によるものです。

営業利益は、上記の売上高増加により増加したものです。

経常利益は、上記営業利益の増加に加え、支払利息等の削減による営業外損益の改善により増加しました。

四半期純利益は、経常利益の増加および昨年度売却した名古屋東工場の建物解体で発生した屑鉄売却による売却益により特別損益が

改善し増加しました。

(通期)

連結および個別の売上高は、電力会社向け重電機器の売上高増加により増加する見込みです。

営業利益は、当初想定していた以上の原材料価格の値上がり等により、連結は利益減少、個別は、売上高の増加が多かったため、年初予想どおりとなる見込みです。

経常利益は、支払利息等の削減による営業外損益の改善はあるものの、連結は上記のとおり営業利益の減少があり利益減少、個別は利益が増加する見込みです。

当期純利益は、昨年度売却した名古屋東工場の建物解体で発生した屑鉄売却による売却益により特別損益が改善したものの、連結は上記のとおり経常利益の減少があり利益減少、個別は利益増加となる見込みです。

以 上